取扱説明書

ポータフローX用パソコン通信ソフトウェア

INF-TN512661c

富士電機システムズ株式会社 http://www.fujielectric.co.jp
〒141-0032　東京都品川区大崎 1-11-2(ｹﾞｰﾄｼﾃｨ大崎ｲｰｽﾄﾀﾜｰ)

営業拠点
北海道地区：011-221-6407　　関西地区：06-6455-6790
東 北 地 区：022-225-5355　　中国地区：082-247-4233
関 東 地 区：03-5435-7041　　四国地区：089-933-9101
中 部 地 区：052-746-1014　　九州地区：092-262-7844
北 陸 地 区：076-441-1230

計測機器のホームページ：http://www.fic-net.jp/

この度は、ポータフローX用パソコン通信ソフトウェアをご利用いただきまして、ありがとうございます。
ご利用にあたり、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

ご注意：本書の内容は、予告なしに変更されることがありますので、ご了承ください。

１．本ソフトウェアの著作権について

本ソフトウェアの著作権は弊社に属します。

２．概　要

本ソフトウェアにより、ポータブル形超音波流量計(ポータフローX)の測定値（リアルタイムデータ、ロギングデータ）をパソコンで容易に読み出すことができます。

３．使用するパソコン

ＤＯＳ／Ｖパソコン

ＯＳ	：Windows95,Windows98,Windows2000,WindowsXP
主記憶	：32M バイト以上推奨
ハードディスク容量	：プログラム　2M バイト,データ　10M バイト
ディスプレイ解像度	：1024 × 768 ドット以上
通信ケーブル（推奨品）	：KRS-403XF1K（サンワサプライ㈱製）
コネクタチェンジャ（推奨品）	：D9S-MM（サンワサプライ㈱製）

（注１）サンワサプライ㈱：　www.sanwasupply.co.jp, TEL(086)223-3311(代), FAX(086)223-5123
（注２）ＵＳＢを使用する場合はＵＳＢ-ＲＳ２３２Ｃ変換アダプタをご使用ください
ご使用方法については変換アダプタの取扱説明書にしたがってください
変換アダプタのＣＯＭポートをご確認の上、ＣＯＭポートを設定してご使用ください

４．ダウンロード内容

下記内容がホームページよりダウンロードできます

インストールファイル	１式	本ソフトをパソコンへインストールするためのファイル
取扱説明書	１冊	本説明書

５．ソフトウェアのインストール

①ホームページからダウンロードした場合のインストール

ダウンロードしたフォルダ内の「setup.exe」を実行してください。その後は「次へ」ボタンで進めてください。

②ＣＤからのインストール（ダウンロードしたソフトウェアをＣＤにコピーした場合）

セットアップ CD をドライブに挿入し、Windows の手順に従ってドライブの「setup.exe」を実行してください。その後は「次へ」ボタンで進めてください。

注）Windows2000 より前の OS を利用している場合、「setup.exe」を実行した後に、再起動を要求する画面が表示されることがあります。表示されたときは、作業中のファイルを全て閉じてから、「はい」ボタンを押してください。パソコンが再起動され、インストールが開始します。

６．起動とメニュー画面の種類

スタートメニューから「PORTAFLOW-X」を起動するとメニュー画面が表示されます（図１）。

(1) リアルタイムデータの通信

(2) ロガーデータの通信

メニュー画面で伝送モードと保存ファイルの形式を選択し、「ＯＫ」ボタンをクリックすると図２または図３の画面に切り換ります。各項目は下記のようになっています。
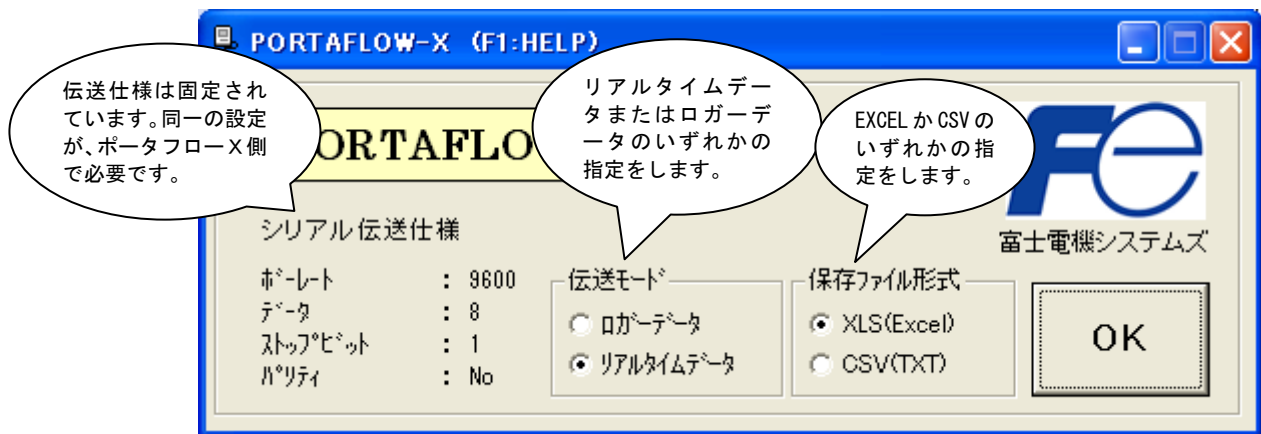
図１．メニュー画面
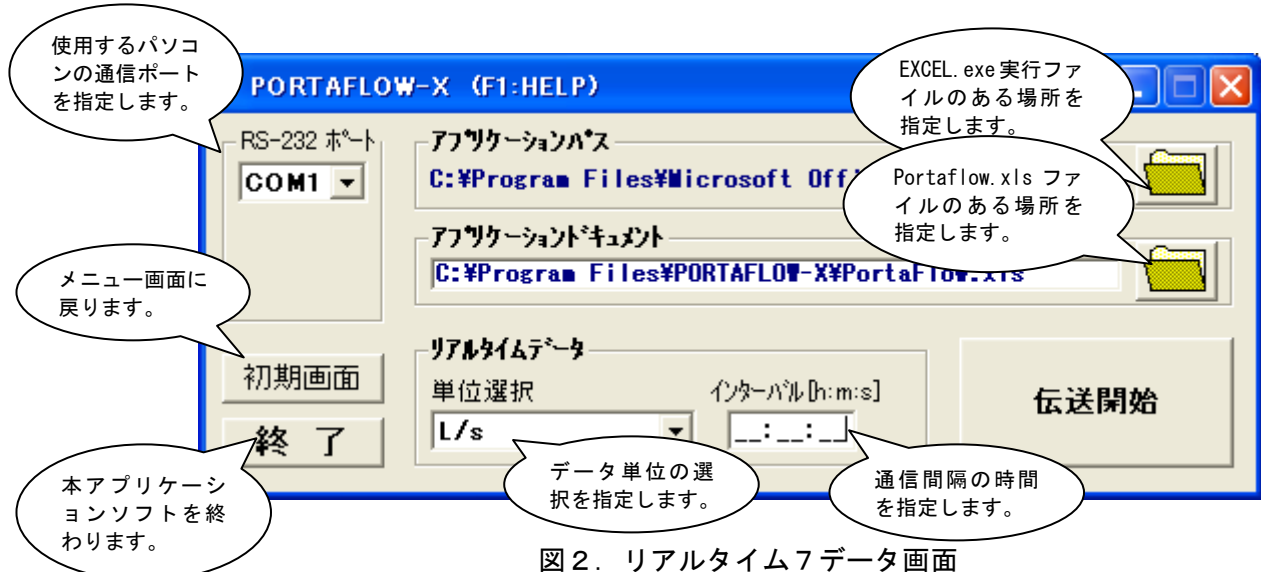
図２．リアルタイム７データ画面
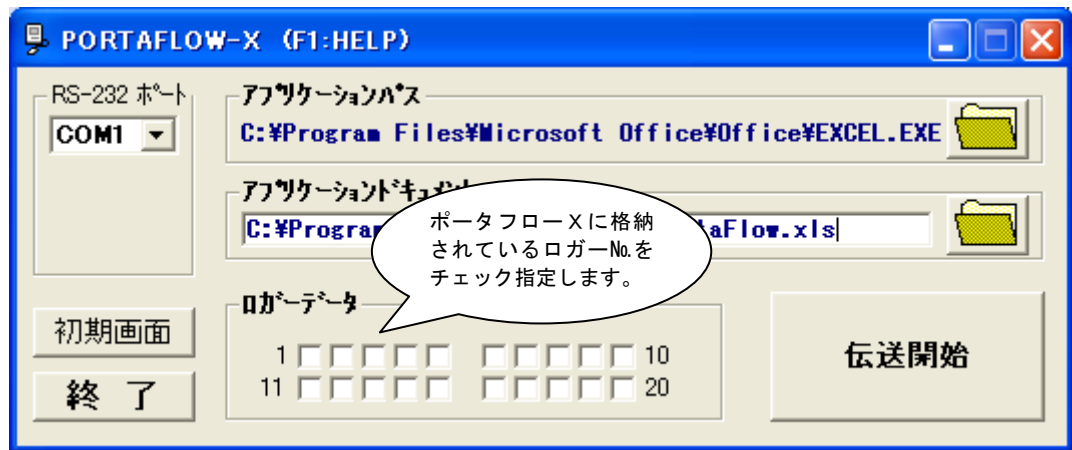
図３．ロガーデータ画面

７．リアルタイムデータ通信

伝送モードの選択でリアルタイムデータを選択し、「ＯＫ」ボタンをクリックすると図４に画面が切り換ります。インターバルを設定し、「伝送開始」ボタンをクリックすると、EXCEL が起動され、図６の画面が現れ、図５の画面が現れて通信中となります。「伝送停止」をクリックすると、図４に戻ります。
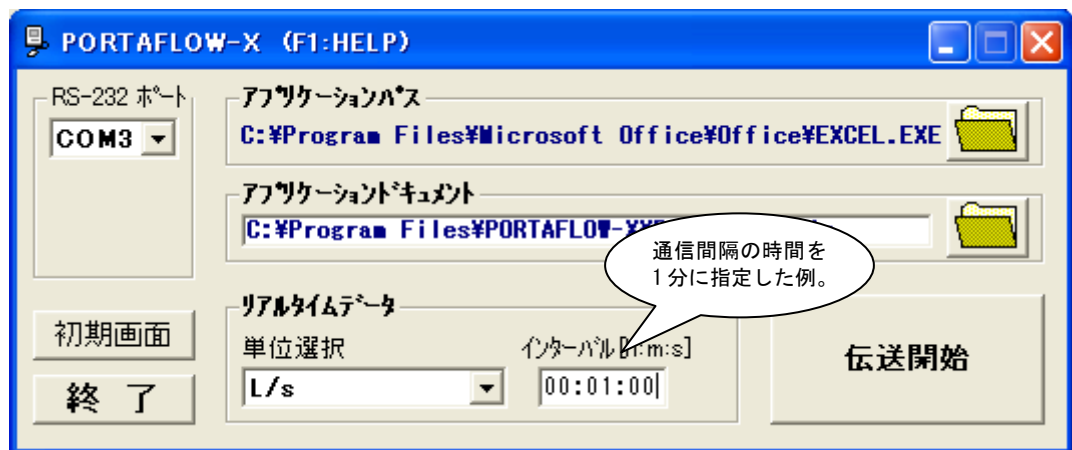
図４．リアルタイムデータ画面
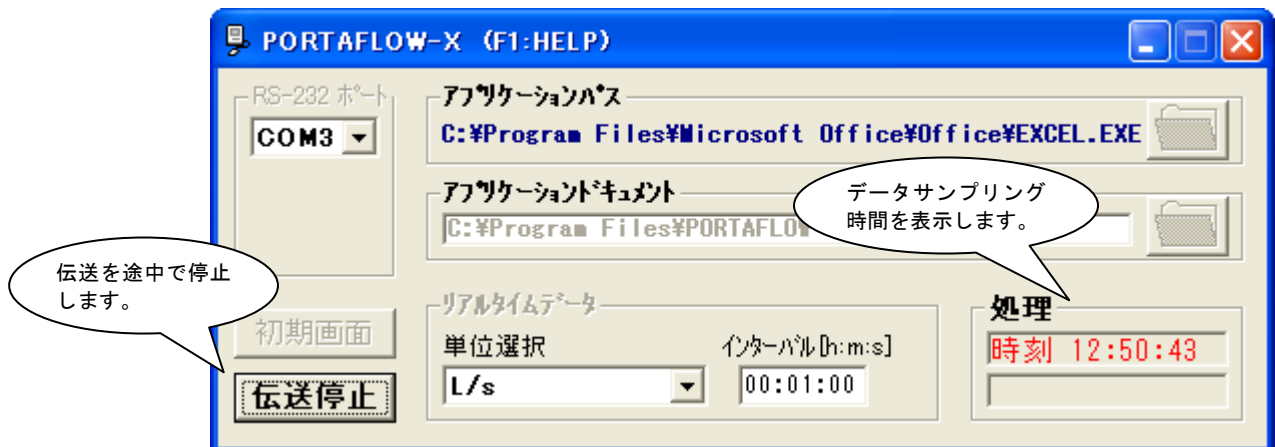
図５．リアルタイムデータ通信動作画面
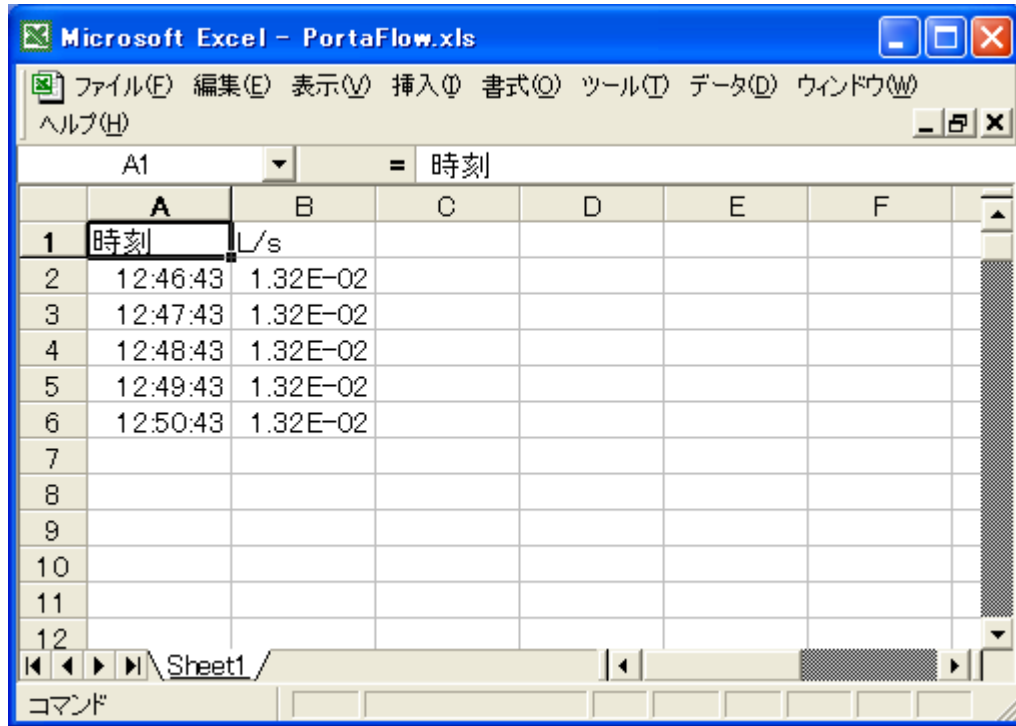
図６．リアルタイムデータ EXCEL 画面

８．ロガーデータ通信

伝送モードの選択でロガーデータを選択し、「ＯＫ」ボタンをクリックすると図７に画面が切り換ります。ロガーデータNo.をチェックし、「伝送開始」ボタンをクリックすると、EXCEL が起動され、図９の画面が現れ、図８の画面が現れて通信中となります。「伝送停止」をクリックすると図７に戻ります。
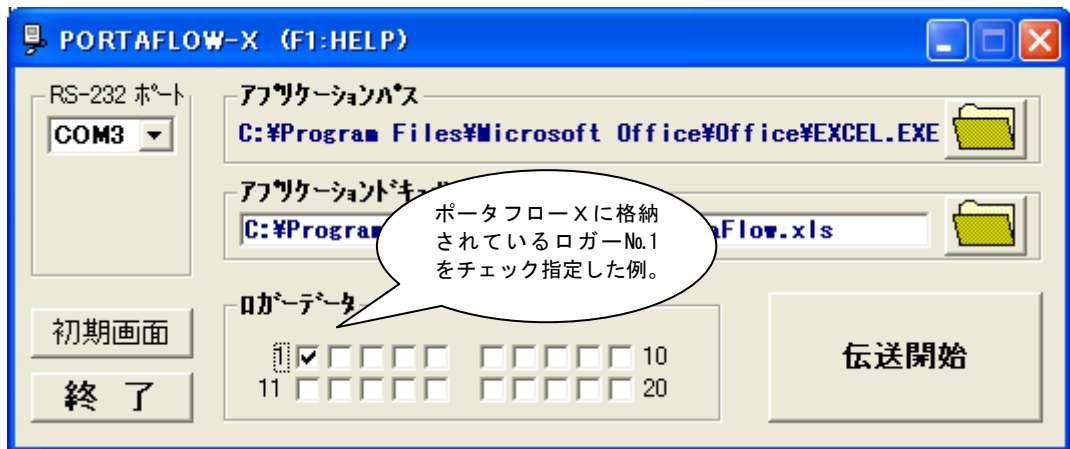
図７．ロガーデータ画面

図８．ロガーデータ通信動作画面

図９．ロガーデータ EXCEL 画面

注）データの取り込み数

ロガーデータの取り込み可能数はＥＸＣＥＬの行換算で 32767 行分のデータ数となっています。（ＥＸＣＥＬファイル、ＣＳＶファイルともに同じ）

32768 行以上のデータは読み込めませんので注意ください。

ポータフローＸのロガー機能設定の際は、データの格納期間、格納周期設定時に上記を超えないように設定してください。

９．データ保存

パソコン通信で読み込んだデータは、Ｅｘｃｅｌシートにあります。データを保存する場合は、アプリケーションドキュメントで指定しているファイル名「Portaflow.xls」は使用しないで、別の名前を付けてファイルに保存してください。

１０．終了

各画面で「終了」ボタンまたは「×」ボタンをクリックします。

１１．ソフトウェアのアンインストール

Windows の手順に従って行ってください。

(注)Windows、Excel は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。